

職業実践力育成プログラムのご案内

長崎大学 子どもの心の医療・教育センターでは、発達障がい等による子どもの心の問題を支援する一策として、子どもにかかわる専門職の支援能力向上、キャリアアップを目指し、教師や保育士、療育関係者等に発達障がいや特別支援教育、医療的な支援に関する教育プログラムを提供しています。

1. 履修証明プログラム名：子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム

2. 講義方法：全てeラーニング

eラーニングとは、主にインターネットを利用した学習形態のことで、自宅からの学習が可能です。現在就業中で、勤務時間が異なる受講者、遠隔地に勤務し来学が困難な受講者でも、時間や場所にとらわれず、受講することができます。

3. 内容

発達障がいや精神障がいのタイプ、それぞれの特性に関すること、様々な問題がある子どものアセスメント、それぞれの問題に対する支援方法、関係機関の機能や各機関との連携方法について、当センター教員や各領域で活躍している講師による講義（約60分）及び各講義ごとの試験を実施します。これにより、子どもの心の問題を早期に的確に把握し対応する能力、関係機関や保護者と連携する能力を身に付けることができます。全プログラム修了者には長崎大学から履修証明書が発行されます。

<各コースの概要及び定員・受講料>

科目（コース）名	定員数	講義数	年間 受講料
A. 発達障がいの基礎・アセスメントコース	150	40講義	30,000円
発達障がいや精神障がいの理解、各アセスメントやその結果の活用方法について学びます。初めての方は、まずAコースを受講されることをお勧めいたします。			
B. 発達障がい児者への支援コース	150	40講義	30,000円
Aコースで学んだことをもとに、学習面、対人関係面、情緒面、行動面、感覚・運動面など様々な問題への支援方法や、関係機関や保護者との連携について学びます。Aコース受講後に受講されることをお勧めいたします。			
C. 発達障がいのトピックコース	250	40講義	30,000円
令和2年度まで実施の「子どもの心の支援に関わる高度人材育成プログラム」（全80講義）を修了された方、または、Aコース・Bコース（計80講義）を受講された方向けのコースです。発達障がいに見られる併存症・随伴症状や、発達障がいに関する最近の研究に基づく知見、また、特色のある支援について学ぶことができます。			

※各コースの授業科目・講師については、裏面をご覧ください。

※Aコース・Bコースは、令和2年度までの旧コース（全80講義）と同様の内容となります。

※受講料の納入はR3年4月です。

4. 試験(テスト)について

講義視聴後に、講義内容に関するテスト（1講義につき10問・正誤問題）にネット上で回答

・合格条件：各テスト80%以上の正答率で合格

・最大10回まで挑戦可能

※テスト受験は受講開始翌年の1月31日までです。

履修証明発行手続き上、3月末までではありませんのでご了承ください。

5. 修了要件

受講コースの講義（各コース全40講義）を全て視聴及び、全講義のテストに合格すること。

6. 受講資格

・高卒以上の学歴。

・発達障がいのある子どもに関わっている方。

（教師、臨床心理士、保育士、療育関係者、保護者等、資格職種は問いません）

・ご自宅にパソコン及びインターネット環境がある方

（※受講にはPCメールアドレスが必要です）

7. 受講申込について

①受講生募集期間

令和2年12月7日(月)正午～12月21日(月)午後1時

②申込み方法

<https://forms.gle/JkyD2TWz5GMjRZeb6>

上記より必要事項を入力してお申し込みください。

③受講可否発表

令和3年3月頃予定（本人へ郵送またはメールにて通知）

※受講可否は先着順にて選考させていただきます。

読み取ると
アクセスできます。



<本プログラムへの問い合わせ>

長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

E-mail: kodomonokokoro@ml.nagasaki-u.ac.jp



A：発達障がい基礎・アセスメントコース

授業科目	担当者
1 知的発達症・限局性学習症	吉田ゆり
2 コミュニケーション症	岡久美子
3 注意欠如・多動症	岩永竜一郎
4 自閉スペクトラム症 1	岩永竜一郎
5 自閉スペクトラム症 2	岩永竜一郎
6 発達性協調運動障害	岩永竜一郎
7 双極性障害・うつ病	今村明
8 統合失調症とその前駆症状について	今村明
9 大人の自閉スペクトラム症	今村明
10 大人の ADHD	今村明
11 子どもの神経症性障害	今村明
12 選択性嫉妬	金原洋治
13 少年犯罪について	今村明
14 子どものトラウマとその対応	今村明
15 てんかん	本田涼子
16 子どもの高次脳機能障害	若松みちえ
17 保護者の心理・受容までのプロセス、保護者とのかわり	吉田ゆり
18 医療による対応：診断、薬物治療	今村明
19 子どもの自殺を防ぐために	中根允文
20 子どもによる犯罪を防ぐために	中根允文
21 発達障害児へのアセスメント概論・スクリーニング	吉田ゆり
22 知能検査の結果に基づく支援(Binet 系、Wechsler 系)	吉田ゆり
23 認知発達検査の結果に基づく支援(K-ABC、K 式)	吉田ゆり
24 発達検査(KIDS、遠城寺、JMAP など)	徳永瑛子
25 言語の評価	岡久美子
26 協調運動・感覚処理の評価	岩永竜一郎
27 行動の評価(適応行動、ADHD 評価含む)	岩永竜一郎
28 ASD の評価	岩永竜一郎
29 LD の評価	増本利信
30 特別支援教育の概要と新しい指導要領について	岡野由美子
31 教育委員会の取り組み	石橋善仁
32 通常学級における特別支援教育	岡野由美子
33 個別的教育指導計画・教育支援計画	増本利信
34 通級指導教室における支援	増本利信
35 特別支援学級での支援	木村栄
36 学校における構造化の実践 ～特別支援学校(知的)高等部での取組について～	前田美和
37 スクールカウンセラーによる支援	伊藤勢津子
38 スクールソーシャルワーカーの役割と支援	宮野伸枝
39 保育所(園)での支援	吉田ゆり
40 大学における発達障害学生の支援	Peter Bernick

B：発達障がい児者への支援コース

授業科目	担当者
41 応用行動分析	高橋甲介
42 早期の自閉症児への介入	服巻智子
43 認知行動療法	田山淳
44 発達障害児の言語発達支援	岡久美子
45 自閉症児の学習スタイルと環境づくり(TEACCH アプローチに学ぶ)	服巻智子
46 ASD 児のコミュニケーション支援	服巻智子
47 感情マネジメント	服巻智子
48 感覚・協調運動の問題への対応	岩永竜一郎
49 日常生活支援(食事、排泄、睡眠など)	荻野明日香、仙石泰仁
50 不登校への対応	河田将一
51 虐待を含む養育不全への対応 ～ASD における社会性不全と養育不全への対応～	服巻智子
52 発達障害児への性教育 1	宮原春美
53 発達障害児への性教育 2	宮原春美
54 読み書きの支援 1(ひらがな編)	村井敏宏
55 読み書きの支援 2(漢字編)	村井敏宏
56 見ることの支援 1	増本利信
57 見ることの支援 2	増本利信
58 算数の支援	山田亮
59 発達障害児のための道具の工夫	鴨下賢一
60 IT を活用した支援	高橋和義
61 ソーシャルスキル・トレーニング	田中悟郎
62 ソーシャルストーリー	服巻智子
63 ASD に対する応用行動分析と実践	服巻智子
64 ヘアレントトレーニングの概要	徳永瑛子
65 NPO による支援	東川由貴
66 発達障害者支援センター	宮崎彩
67 医療機関としての取り組み	松坂哲也
68 児童相談所による支援	柿田多佳子
69 不登校・引きこもりの現状と支援者・社会が再びつながるために	宮本鷹明
70 健診における取り組み・保健センターの関わり	岩永竜一郎
71 障害児通所支援事業所における発達障害児支援	宮野伸枝
72 児童心理治療施設の機能と役割、そこの発達障害児等への支援	宮田雄吾
73 親の会活動 1	内藤貴子
74 親の会活動 2、ヘアレントメンターによる支援	奥野由美、柿本文香
75 就労支援の実践	伊藤道春
76 福祉サービス事業について	古庄正輝
77 相談支援事業	藤井修
78 当事者からのほなし	山田隆一
79 巡回相談	岩永竜一郎
80 保育所等訪問支援の取り組み	井村弘子

C：発達障がいトピックコース

授業科目	担当者
81 子どもの発達 1 乳幼児の発達 ～発達症(障害)の理解の基本になる基礎的な発達心理学の知識～	吉田ゆり
82 子どもの発達 2 思春期から青年前期の発達 ～発達症(障害)の理解の基本になる基礎的な発達心理学の知識～	吉田ゆり
83 ASD 児の診断のためのアセスメント	服巻智子
84 ASD 児への超早期介入	服巻智子
85 適応行動の理解と支援	萩原拓
86 強度行動障害の理解と支援	井上雅彦
87 吃音のある子どもの支援	菊池芳和
88 ダウン症や染色体異常による発達の課題がある子どもへの支援	近藤達郎
89 摂食障害への対応	宮田雄吾
90 ゲーム障害・依存症	今村明
91 LGBT の理解と支援	吉田ゆり
92 リストカットのある子どもへの対応	宮田雄吾
93 自閉スペクトラム症児・者のトラウマ関連症状について	今村明
94 子どもの睡眠障害と神経発達障害 ～子どもの発達における睡眠の重要性について～	中井昭夫
95 発達障害児・者の歯科治療	長田豊
96 発達障害のある子どもへの幼児期に必要な支援	堀裕子
97 ヘアレント・プログラム	辻井正次
98 発達障害のある子どもの周りへのアプローチ	増本利信
99 発達障害児者施策	日誌正文
100 発達障害児者への福祉行政支援	羽辺由紀子
101 児童家庭支援センターでの支援	高比良亮
102 発達障害児者の緊急時(災害など)の支援	山田裕一
103 児童発達支援及び放課後等デイサービスにおける リハビリテーション専門職の取り組み	酒井康年
104 知能検査の結果を支援に活かす	木谷秀勝
105 読字と感覚・運動	高畑情平
106 WAVES を用いた視覚認知の評価と支援	奥村智人
107 LD-SKAIP を用いた支援	奥村智人
108 算数障害のある子どもへの支援	熊谷恵子
109 学習障害のある児童生徒への英語指導	村上加代子
110 中学校における通級による支援	高橋龍充
111 高等学校における特別支援教育の実践	上戸綾子
112 高等専門学校における特別支援教育の実践	松尾秀樹
113 いじめ予防の実現を目指して	和久田学
114 特別支援教育のための学校コンサルテーション	齊藤宇閑
115 特別支援学校における就労に向けた専門的教育	田淵敏郎
116 発達障害のある方の就労支援	梅永雄二
117 発達障害とスポーツ	澤江幸則
118 ピアサポートとリカバリー	田中悟郎 他
119 余暇支援について	加藤浩平
120 社会参加と支援	赤壁吾吾